

# SP TADAO

SP 忠男

## Power Box SHORT

SP 忠男 TEL03-3845-2009 (上野店) Ask  
http://www.sptadao.co.jp/



6万5100円 Price

適合車種：CB1100 Spec  
重量：2.4kg (STD=5.3kg)  
音量：近接=92dB 加速=73dB  
材質：ステンレス  
備考：ジョイントガスケット付属。  
装着後は脱脂を必ず行うこと

パワーボックスはマフラーの革命だ！

ベージュで端正なスタイルのCB1100には、70年代のレーシングで活用された細くて短い集合マフラー、いわゆる「ショート管」を装着したい……。そんなユーザーの声に応えたのが、SP 忠男の「パワーボックス」だ。実はレトロなショート管の形状は、現行のマフラー規制（とくに騒音規制）に対応させると、とにかくパワーが出ない。性能を確保しようとする、とんでもない爆音になってしまうのだ。

パワーボックスは、そんな既存のマフラー界の常識を覆すべく、試行錯誤のうえに誕生した、いわば「マフラー革命」ともいえる存在。一見するとサイレンサーの横に楕円のボックスが付いているだけだが、このボックスは形状や容量、内部構造をはじめ、マフラーと連結する位置やパイプの長さ等、何種類も試作。従来は不可能とされたトルク溢れる特性を実現した。パワーボックスを装備したCB1100に乗れば、スタートした瞬間にノーマルとの差は歴然。低

回転域のトルクの弱さというか神経質さは完全に姿を消し、スッとクラッチを離すだけでスムーズに発進。そして高回転まで回さずとも、ポンポンと気持ち良くシフトアップが可能で、まさに大排気量車ならではの「雄大」なフイリ

ングを味わえる。街乗りやツーリングで常用するアイドリングから4000回転位までの低回転域がとにかく扱いやすく気持ちいい。レトロなスタイルと性能を両立したパワーボックスが、CB1100を元気に大変身させるのだ！

ノーマルマフラーの集合部と一体感を持って連なるデザインも秀逸。70年代のレーシングマフラー、いわゆる「ショート管」を彷彿させるレトロなカスタムスタイル



1,2. 力強いパワーの秘密が、エンジン下に隠れたこのボックス。マフラーからの取り出し位置や容量を何種類も試して、最良の特性を生み出した。メインスタンドを取り外さずマフラー装着できるのも実用的



マフラー後端はタンデムステップとほぼ同じ位置で終わるショートサイレンサーは、車体に沿った非常にコンパクトな形状。一見するとエンジン下のボックス部に気づかない



### 匠たちのこだわり

作り手の感覚ではなくユーザーの要望にキッチリ応える

「ユーザーさんも“高性能”を求めています。作り手が考える高性能（高回転のピークパワーなど）と異なることも多いんです。“もっと低回転で乗りやすく”とか、チタニウムなどの高級な材質に拘っていないとか、デザインやブライズも含めた要望にキチンと応えて、“マフラー交換すると楽しいな”と感じてもらえることが重要です」と、SP 忠男は基本的に立ち返ったマフラー開発を大切に。そのための開発コストや時間を惜しまないのが、同社最大の拘りだ。

### Maker's Voice

乗れば誰もが感じる“ホッ”とするマフラーです!!

「CB1100は排気量の割にアイドリングから4000rpm位までの低回転域が少々神経質。その部分を“おおらかで雄大”な乗り味に変えられるのがパワーボックス。スタートした瞬間に“ホッ”とした安心感に包まれ、楽しくなること請け合いです!!」

SP 忠男 営業企画部 部長 大泉善穂さん

用品店のマフラーキャンペーン等、全国を飛び回ってユーザーの要望を丁寧に収集する名物部長



エンジン下の秘密の小箱が雄大で安心感溢れる走りを生み出した